

# 令和3年度 学校自己評価

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

## ①教育理念・目標

|  | 評価項目                                          | 評価 |
|--|-----------------------------------------------|----|
|  | ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）   | 4  |
|  | ・学校における職業教育の特色は明確化されているか                      | 4  |
|  | ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか                 | 4  |
|  | ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか    | 3  |
|  | ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 3  |

### [課題]

- ・コロナ禍の影響を踏まえ、新しい社会ニーズへの対応を適切に行う必要がある。
- ・AI等最先端技術を持った方に教えて頂きたいが、なかなか見つからない。
- ・現社会からのニーズが多様化しすぎて、学校教育として扱う範囲を明確化できていない。

### [今後の改善方法]

- ・社会の変化とニーズを掌握し、在宅やリモート等の在り方と対処も配慮する。
- ・企業との交流を更に増やし、協力して頂ける体制作りを行う。
- ・企業側と学校側との間で十分な議論を行い、ベースとなる部分や応用的な部分を分類し、何をどのレベルまで教育すれば良いかを明確にする。

### [特記事項]

- ・HPが充実して対外的な周知がよくなっている。
- ・卒業研究発表会への企業参加数が増加しており、学生のモチベーションアップに繋がっている。
- ・人間力教育に力を注いでおり、育成人材像を明確にしている。
- ・専門色が濃くなったことにより、学科ごとに人材像が明確になってきた。

## ②学校運営

|  |                                           |   |
|--|-------------------------------------------|---|
|  | ・目的等に沿った運営方針が策定されているか                     | 4 |
|  | ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか                    | 4 |
|  | ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 |
|  | ・人事、給与に関する規定等は整備されているか                    | 4 |
|  | ・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか           | 4 |
|  | ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか          | 4 |
|  | ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                 | 4 |
|  | ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか                | 3 |

### [課題]

- ・運営組織の活動の活性化。
- ・業務ごとにシステム化が進んでいる。

### [今後の改善方法]

- ・委員会等のマンネリ化を防ぐ。
- ・効率化を考え、システムの統一化を図る。

### [特記事項]

- ・ゲームやAI等、外部との連携が進んでいる。

## ③教育活動

|  |                                                              |   |
|--|--------------------------------------------------------------|---|
|  | ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか                             | 4 |
|  | ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 |
|  | ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか                                     | 3 |
|  | ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方針の工夫・開発などが実施されているか          | 4 |
|  | ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等がおこなわれているか         | 4 |
|  | ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか     | 3 |
|  | ・授業評価の実施・評価体制はあるか                                            | 4 |

|                                                            |   |
|------------------------------------------------------------|---|
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                               | 4 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                            | 4 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                      | 4 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                   | 3 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか  | 3 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 3 |
| ・教員の能力開発のための研修等が行われているか                                    | 3 |

[課題]

- ・先端技術を持った教員の採用が難しい。又、現職員も努力しているが、多忙のため各種研修への参加が十分とは言えない。
- ・教職員自身の意識改革によって積極的な取り組みにする。
- ・限られた人員の中で、社外研修等の派遣が難しい。

[今後の改善方法]

- ・授業充実のための人材確保。
- ・企業より外部講師派遣をさらに進める。
- ・Web・オンデマンド等を活用した研修や、各分野の関係企業での実地・実務研修の実施。

[特記事項]

- ・少しづつ教員数は増えている。

④学修成果

|                                        |   |
|----------------------------------------|---|
| ・就職率の向上が図られているか                        | 4 |
| ・資格取得率の向上が図られているか                      | 4 |
| ・退学率の低減が図られているか                        | 4 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか            | 3 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3 |

[課題]

- ・卒業後の実態把握、動向等の結果を教育活動改善に繋げる。
- ・県外就職生に対する調査ができていない。

[今後の改善方法]

- ・企業や病院等の訪問と情報収集を一層充実させる。
- ・今年度卒業生より、WEB＋SNSを使った卒業生への連絡方法を導入予定。
- ・企業の採用担当者との意見交換会を実施し、教育内容の見直しを行う。

[特記事項]

- ・卒業生の状況把握が、少しづつできるようになっている。

⑤学生支援

|                                          |   |
|------------------------------------------|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか                  | 4 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか                     | 4 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか                 | 3 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか                      | 4 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか                   | 4 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか                     | 3 |
| ・保護者と適切に連携しているか                          | 4 |
| ・卒業生への支援体制はあるか                           | 3 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか               | 3 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 |

[課題]

- ・能力的に厳しい学生への支援がなかなか困難である。
- ・近頃は学生が多様化し、問題解決が難しくなっている。しかし、学校側は専任の職員を確保できず対応が後手になっている。

[今後の改善方法]

- ・カウンセラー教員の一層の活用が希まれる。

[特記事項]

- ・相談活動はよく行われている。
- ・コロナ禍により、学生課外活動を縮小せざるを得なかった。

⑥教育環境

|                                             |   |
|---------------------------------------------|---|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか           | 3 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3 |
| ・防災に対する体制は整備されているか                          | 4 |

[課題]

- ・古くなった施設・設備の整備。
- ・現状でのインターンシップ（早期実習）、以外に教育課程内での企業実習の充実。

[今後の改善方法]

- ・設備の更新については、計画的な予算措置を行う。

[特記事項]

- ・外壁の南面補修ができた。

⑦学生の受入れ募集

|                              |   |
|------------------------------|---|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか          | 4 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 |
| ・学納金は妥当なものとなっているか            | 4 |

[課題]

- ・行政や企業とのコラボと全教職員による広報の活性化。
- ・来校が難しい学生への広報活動。

[今後の改善方法]

- ・行政や企業との積極的連携。
- ・動画やリモートによる活動を行う。

[特記事項]

- ・オンラインを使った成果発表会、学校ホームページの充実化が図れた。

⑧財務

|                           |   |
|---------------------------|---|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 3 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか    | 4 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか       | 4 |

[課題]

- ・授業料収入が主なため、入学生数によって経営が左右される。

[今後の改善方法]

- ・学生、教職員の節約の自覚。
- ・財務基盤の安定化は、学生納付金、帰属収入による為、広報活動及び学生確保に努める。
- ・全教職員に経営意識を持たせる。

[特記事項]

⑨法令等の遵守

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| ・法令、専修学校設備基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか    | 4 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか         | 4 |
| ・自己評価結果を公開しているか                | 4 |

[課題]

[今後の改善方法]

[特記事項]

- ・毎月初朝礼時に個人情報の取扱いについて確認している。

⑩社会貢献・地域貢献

|                                              |   |
|----------------------------------------------|---|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか             | 3 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか                      | 4 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 2 |

[課題]

- ・清掃活動などのボランティアは行っているが、地域とのつながりがない。
- ・産学官連携における I V Y 独自の社会貢献、地域連携を行う。

[今後の改善方法]

- ・地域の方々や小中学校の校長と交流会を持ち要望を収集する。

[特記事項]

- ・学生への指導も適切で、ボランティアに積極的に参加している。
- ・今年度より、情報系国家試験会場として施設を提供した。

以上が令和3年度の学校評価の結果集計です。様々な課題と改善策について意見をいただき感謝申し上げます。